まじょまじょ奮闘ストーリー

企画・構成
科学的教育グループ SEG
バックナンバーは右記アドレスで公開中！
www.seg.co.jp

# まじょまじょ〜リョウちゃん 修行編

## 第23話　〜おおばーば、いちおしのスープ〜

■作／青木亮二（SEG）
■画／うずは

わたしはリョウ、まじょまじょよ！
このごろは、すっかり寒くなっちゃって、こたつから出られない日が続いているの！
最近は、こうしてこたつに入って、みかんをほおばりつつ、あったかいスープをいただくのがすっかり気に入っちゃって（笑）。
まあ、そのせいかもしれないけれど、おおばーばったら年が明けたにもかかわらず相変わらず、ぐちぐちぐちぐち…
はいはい、お手伝いしますわよ。

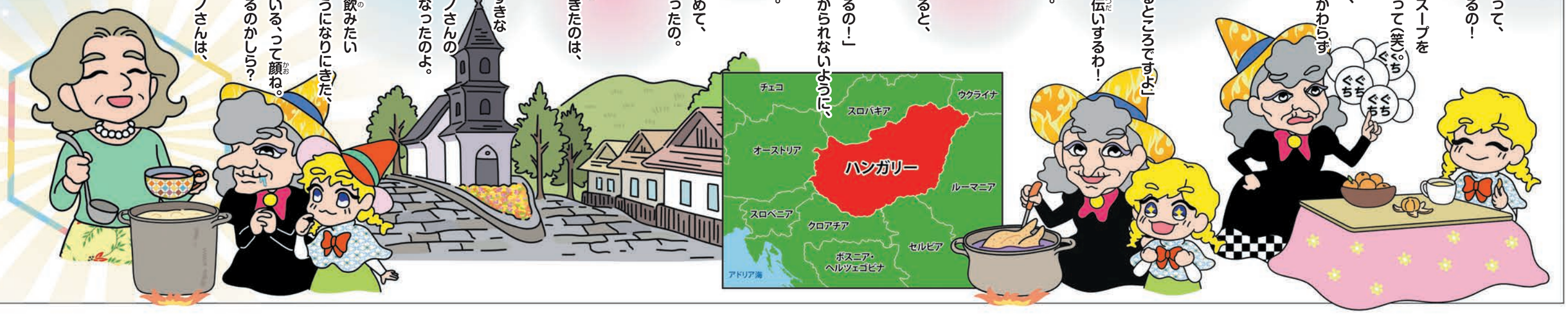
おおばーばは、キッチンでなにかをくつくつ煮込んでいるみたいね。
おおばーばにたずねると、
「ちょうど鳥肉のスープを作っているところですよ」
だって！
なんだ、そんなことなら喜んでお手伝いするわ！
ばーばの作る鳥肉のスープは、スープの中でも一番すきなものなの。
はやくできないかしら。

「最近は、リョウちゃんはスープにすっかりはまっちゃったの？」
わたしがお手伝いで食器を洗っていると、ふいにばーばがたずねてきたわ。
「スープを飲むと元気が出てきて、まじょまじょの修行のやる気もあがるの！」
わたしは、ぐーたらしているのをしかられないように、うまくいいように返事をしたの。
でも、それが少しまずかったみたい。

で、おおばーばに連れられてやってきたのは、ハンガリーという国の小さな町、ホーロックというところ。
「リョウちゃんに、わたくしが一番すきなスープを飲ませてあげましょう」
古くからの知り合いの、ファミリアノさんのお宅におじゃまさせてもらうことになったのよ。

「セツコさん、急にどうしたの？」
ばーばったら、わたしがどうしても飲みたいって言うから、厚かましくもごちそうになりにきた、なんて言ってるんだけど、あの顔はばーば自身がとっても飲みたがっている、って顔ね。
でも、いったい何のスープが出てくるのかしら？

「はい、できたわよ！」。ファミリアノさんは、大きなずんどうなべ（大なべ）から、かわいらしいカップにスープをそそいでくれたわ。
中には、ごろっとした何かが入っているみたいだけど、うーん、おいしそうな甘い香り！
さっそく、いただきまーす。




「リョウちゃん、おどろいた？
これはね、桃のスープなの。どう？」
どう、もなにも、とってもおいしくてすぐにおかわりしちゃった！
桃の甘さと、スパイスの香りがたまらないわ。
ハンガリーでは、一年中桃のスープを楽しむみたいで、夏は冷やしたまま、冬はこうしてあっためて飲むそうよ。

「でも、たしかにリョウちゃんの言う通り、スープを飲むと元気が出てくるわね」
あら？　いつもなら、おおばーばの魔法が発動するはずなのに、少し雰囲気がちがうわね。
「わたしも魔女でございます。少し変わった魔法を発動させましょう」

そう言って、ばーばはファミリアノさんに魔法をかけちゃった！

うっとりしはじめたファミリアノさん。
おもむろに、算数の問題を口にし始めます。

おおばーばったら、いったいいつの間に他の人に算数の問題を発動させる魔法を身につけたのかしら？
わたしも、いつまでもだらだらしてないで、ちゃんとまじょまじょから卒業できるようにがんばらないと！
ではみんな、今年もよろしくね！

## Q ファミリアノさんの問題

ずんどうなべいっぱいに入ったスープを、大・中・小の3種類のカップに分けるの。
スープの量は、ぴったり大カップ20杯と小カップ50杯分あるんだけど、中カップと小カップに分けるなら、中カップ40杯と小カップ30杯分に、大カップと中カップに分けるなら、大カップ30杯分と中カップ20杯分になるわ。
じゃあ問題。大カップ、中カップ、小カップの容積の比は、何：何：何になるかしら。

## A 問題の解答

ずんどうなべのスープの量を1とします。
大20杯、小50杯で1…①、中40杯、小30杯で1…②、（大30杯と中20杯で1…③なので）大60杯と中40杯で2…④となるので、①②④をたすことで，大80杯、中80杯、小80杯で4となることがわかります。
よって、大・中・小20杯ずつで1とわかるので、①と比べれば、中20杯分と小30杯分が同じ量、③と比べれば、大10杯分と小20杯分が同じ量とわかります。
小の量を30と20の最小公倍数60に合わせて比べると、大30杯、中40杯、小60杯が同じ量とわかるので、
大・中・小カップの容積の比は $\frac{1}{30}:\frac{1}{40}:\frac{1}{60}=$ 4:3:2 とわかります。

## 人物紹介

リョウちゃん

未熟な魔女「まじょまじょ」を卒業するために日々奮闘中の、どこかおっちょこちょいな魔女。目の前のものをかわいいヘビに変えるのが特技。

おおばーば
（本名はセツコ）

手厳しさもあればおおらかでやさしいところもある、なぜかリョウちゃんと気の合う「偉い魔女」。保護者役も兼ねる。

「まじょまじょリョウちゃん 修行編」は、原則として毎月第1木曜日に掲載します。